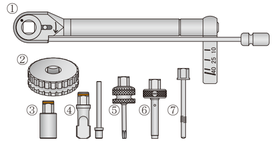
ガイデッドサージェリー用ドリルシステム　MJガイドシステム

MJ Guide System

KENTEC

＜MJガイドシステム一式＞

＜補綴キット(7点)＞



【補綴キット内容】
①トルク付ラチェットレンチ
②スクエア・ハンドドライバー
③スクエア・エクステンション
④SB1-MKボーンミル
⑤HEXホールドドライバー22
⑥ポストリムーバー26
⑦アバットリムーバーM

＜インプラント 5本＞

*TF-type37**MJ/43**MJ*

インプラントの番手は下記一覧表よりお選びください

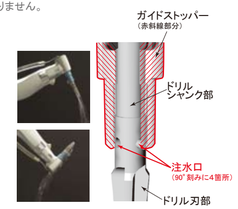
製品名	数量	製品名	数量	製品名	数量
TF3708MJ		TF3710MJ		TF3712MJ	
TF4308MJ		TF4310MJ		TF4312MJ	

ご注文はケンテック㈱もしくは各代理店営業担当までお願いいたします。

MJガイドシステムの特徴

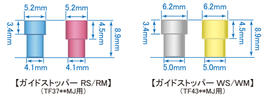
ガイデッドフロー(ガイド内注水による革新的な冷却システム)

弊社独自の注水機構ガイデッドフローは、ドリルシャンク部とドリル刃部との間に内部注水口を設け、それをガイドストッパーで覆うことでドリル刃部へ冷却水が誘導される、これまでにない技術です。サージカルガイド下でも、ドリルに水が供給されるため、確実な冷却が可能です。
また、ガイドストッパーによりドリルとスリーブが直接接触しないので、金属粉の発生もありません。



ガイドストッパー

一般的なサージカルガイドで用いられているガイドキーと、ストッパーの両方の機能を併せ持つガイドストッパーを使用します。
手術時にドリルキーを抑える手が不要になり、操作性に優れています。
ガイドストッパーはストッパー部の長さ及びガイド径によって青・赤・銀・黄の4色に色分けされています。

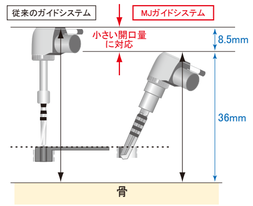


【ガイドストッパー RS/RM】
(TF37**MJ用)

【ガイドストッパー WS/WM】
(TF43**MJ用)

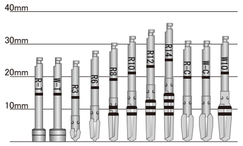
対合歯とのクリアランス

MJガイドシステムは、スリーブに対し、ドリルを斜めに侵入させることで、対合歯とのクリアランスを小さくすることができました。開口量が小さい患者様にも適応できるよう設計しています。



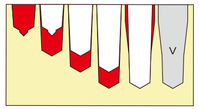
ドリル

MJガイドシステムでは、ドリルは太さではなく、深さ方向に順次深く形成し、最終段階で太さを拡大していくシステムです。
また、ドリルの全長を弊社のαドリルロングが37mmに対し、MJガイドシステムの一番長いスタートドリルR14で36.4mmのため、クリアランスが小さい症例にも対応できます。



骨火傷防止

MJガイドシステムは、一回のドリリングにおける骨切削体積を20mm³以下になるよう設計しています。これにより、ガイドシステムの欠点と言われた骨火傷の問題を極力回避しています。



△V＝各ドリルで切削した骨の体積(赤色部分)
V＝最終植立孔の体積(灰色部分)

申込先：ケンテック(株)　FAX 03-5155-2598

フリガナ		フリガナ	
ご芳名		ご診療所名	
フリガナ			
ご診療所住所	〒　　都・道・府・県		
TEL		FAX	
代理店名	営業所名	担当者名	

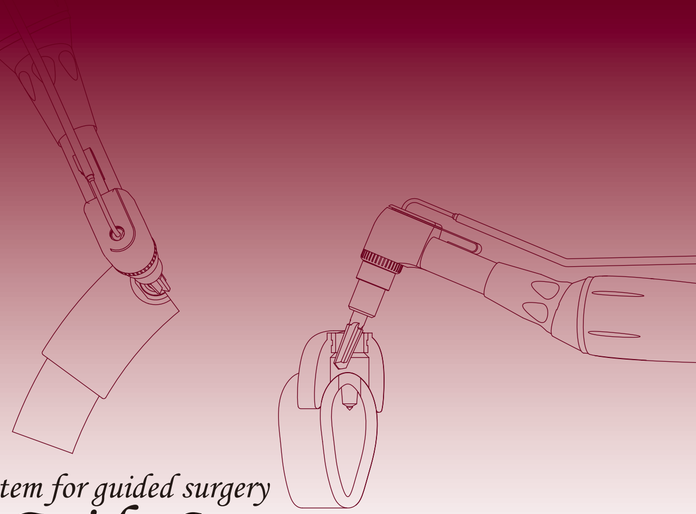
ご提供いただきました情報は、目的以外の用途には使用いたしません。また、漏洩等のないように取り扱いには十分に留意いたします。

＜開発・製造・販売＞

ケンテック株式会社
東京都新宿区早稲田南町52-2
TEL：03-5155-2596

アルファタイトインプラント
医療機器承認番号　22000BZX00172000
医療機器届出番号　13B1X10033000001
13B1X10033000002
13B1X10033000003

MJガイドパンフ 第3版_20180615

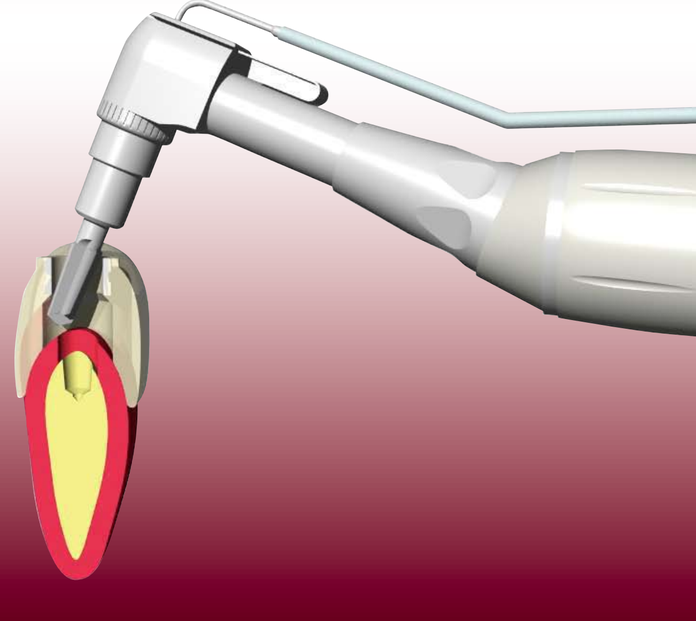


Drill system for guided surgery

MJ Guide System

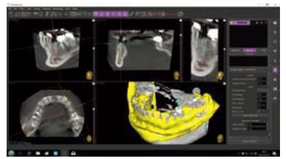
ガイデッドサージェリー用ドリルシステム　MJガイドシステム

VOL.3



ガイデッドサージェリー用ドリルシステム　MJガイドシステム

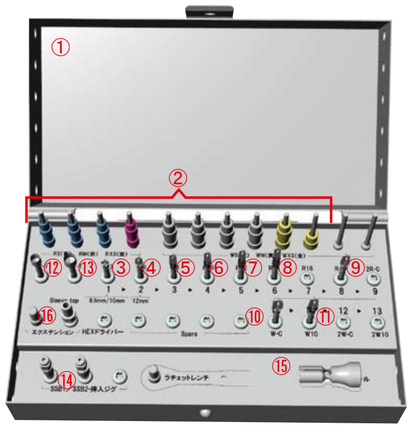
Alphatite Implant
MJ Guide System



「*MJ Guide System*(MJガイドシステム)」は、サージカルガイドを用いてインプラント埋入孔を形成し、アルファタイトインプラントを埋入するためのドリル及び植立ツールをセットしたガイデッドサージェリー用ドリルシステムです。
インプラントボディはMJガイドシステムの専用マウントが装着されたTFタイプMJ(TF37**MJ及びTF43**MJ)があり、埋入長はそれぞれ8ミリ、10ミリ、12ミリをご用意しています。

MJ Guide System（内容）

MJ Guide System セット



ケンテック社のアルファタイトインプラント用のツールをお持ちでない場合、
下記のオプションツールが別途必要になります。詳しくは弊社までご相談ください。

<ドリル・リーマー・ツール類の主な用途>

①ツールボックス
各種ツール・ドリルを収納するための滅菌可能な収納ケース

②ガイドストッパーRS(青×6)
ガイドストッパーRM(赤×2)
ガイドストッパーWS(銀×8)
ガイドストッパーWM(黄×3)
各ティッシュパンチ、各スタートドリルに装着し、穿孔を行う際にドリルの深度と方向を制御するためのストッパー

③④⑤⑥⑦⑧
スタートドリルR3/R6/R8/R10/R12/R14
埋入孔穿孔用ドリル

⑨⑩カウンターシンクR-C/W-C
埋入孔拡大用ドリル

⑪スタートドリルW10
埋入孔穿孔用ドリル

⑫⑬ティッシュパンチR-T/W-T
歯肉切除用ティッシュパンチ

⑭SSB1-挿入ジグR-MJ/W-MJ
手指埋入用挿入ジグ

⑮保持ツール37-43
コントラマウント－手指埋入用挿入ジグ交換用ツール

⑯CAエクステンションMJ
MJガイドシステム専用延長ツール

【オプションツール】

①トルク付ラチェットレンチ

②スクエア・ハンドドライバー

③スクエア・エクステンション

④SB1-MKボーンミル

⑤HEXホールドライバー22

⑥ポストリムーバー26

⑦アバットリムーバーM

<オプションツールの主な用途>

①トルク付ラチェットレンチ
トルク付ラチェット機構の棒レンチ
分解洗浄可能
10Ncm～45Ncmのトルクコントロール可能

②スクエア・ハンドドライバー
4mm四角穴の開いた丸レンチ

③スクエア・エクステンション
4mm四角穴の開いた延長ツール

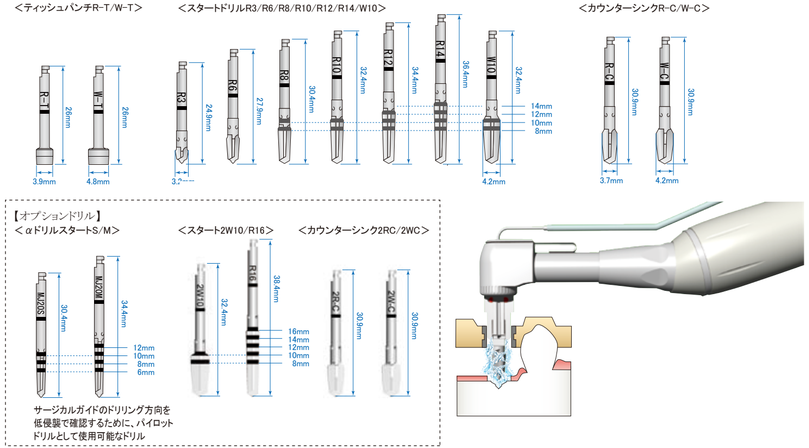
④SB1-MKボーンミル
インプラントプラットフォーム部の骨を削除するためのツール

⑤HEXホールドライバー22
キャップやアバットメントスクリューの締め付けに使用します
キャップやアバットメントスクリューのホールド性を高めています

⑥ポストリムーバー26
アバットメントの取り外しに使用

⑦アバットリムーバーM
アバットリムーバー対応のアバットメントの取り外しに使用

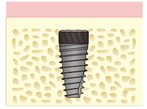
ドリル先端からの距離（黒ライン幅は1mm）



使用可能なインプラント

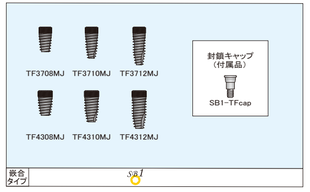
TF-type MJ

2回法2ピース　ボーンレベルアンダータイプ　MJガイドシステム専用マウント付

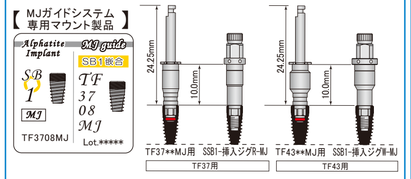


フィクスチャーエンドカット

TF-typeの1番の特徴は自己穿孔能力です。インプラントの先端に特殊なグルーブ(フィクスチャーエンドカット、上写真赤丸部分)を形成することで自己穿孔能力を実現しました。
ガイデッドサージェリーのようにインプラント埋入深さが予め決められている場合には自己穿孔能力は必須です。



外箱のシールをご確認ください

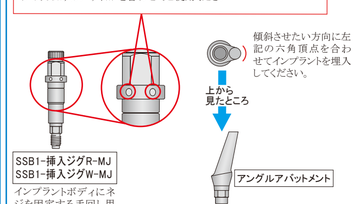


Alphatite Implant TF-type MJはMJガイドシステム専用マウントを装着したMJガイドシステム専用のインプラントです。
MJガイドシステム専用マウントと手指埋入用の挿入ジグのどちらを使用してもインプラントの方向、埋入深度をコントロールすることができます。
なお、TF37**MJ、TF43**MJインプラントに付属されているマウントはMJガイドシステム専用のため、マウントホルダーの取り付けはできませんので、ご注意ください。また、ラチェットレンチにて植立する際はSSB1－挿入ジグR-MJもしくはSSB1－挿入ジグW-MJをご使用ください。

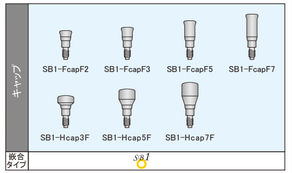
※詳しくは製品一覧カタログをご覧ください。

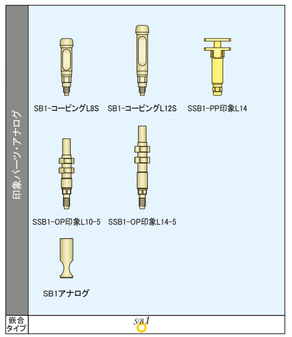
アングルアバットメントご使用の際の注意点

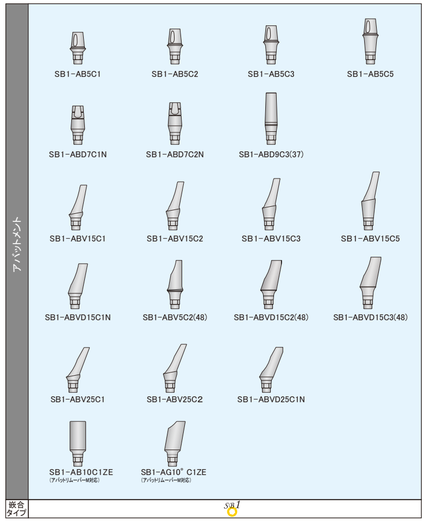
ディンプル(六角頂点)
アルファタイトインプラントの内部六角頂点と上記の挿入ジグのディンプルは同じ方向に設定されています。
アングルアバットメントをご使用の際は、傾斜させたい方向にディンプル(六角頂点)のいずれかを合わせてご使用ください

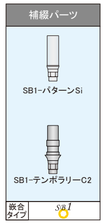


使用可能なパーツ類









パーツ類の取り扱いに関する
注意事項

① ヒーリングキャップ、OP印象のインプラントボディに対する取り付けはHEXホールドドライバー22による手締めで行ってください。又、ラボサイドでのアナログに対するアバットメントの取り付けも同様です。

② 最終補綴物セット時、アバットメント及びカスタムアバットメントの取り付けはHEXホールドドライバー22にトルク付ラチェットレンチを組み合わせ、25Ncm以上で2度締めを行ってください。

③ アバットメントの選択において、カフ部の高さが2mmのアバットメントを第一選択として推奨致します。そのために1mm以上の骨縁下の埋入をお願い致します。

④ SB1-ABDタイプのアバットメントはアバットメントシャンファー部を自由に付与したい場合にご選択ください。
また、チェアサイドで形状を調整し、直接口腔内に取り付ける場合にご選択ください。

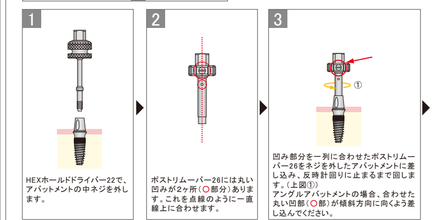
⑤ 臼歯部に植立したインプラントにアングルアバットメントを選択する際は、SB1-ABVDタイプのアバットメントをご選択ください。
ショルダー付きアングルアバットメントは、主に前歯部に使用致します。

⑥ 削合用アバットメント(SB1-AB10C1ZE及びSB1-AG10° C1ZE)はアバットリムーバーMで取り外します。
それ以外はポストリムーバー26にて取り外しを行います。

⑦ SB1-パターンSiを用いてカスタムアバットメントを製作する場合アナログプラットフォーム部分にフックスを乗せないでください。
また、製作後、カスタムアバットメント本装着(25Ncmの締め込み)を行った後に直接印象を行ってください。カスタムアバットメント製作時に最終補綴物の製作は避けてください。

⑧ SB1-パターンSiを用いたフレーム連結の補綴物製作はお止めください。DM嵌合、5°モーステーパーが成立しない場合、インプラントの破折の恐れがあります。

ポストリムーバー26 操作方法

ポストリムーバー26はアバットメントの取り外しに使用します。
ポストリムーバー26に対応する嵌合タイプ及びインプラントボディは下記をご参照ください。

左図のように赤丸で囲んだ部分に丸い凹み(○部分)があります。それを一列に揃え使用します。